

地域とともにあいさつのまちづくり～地域とつながるあいさつ運動～

対象学校名等	美濃加茂市立伊深小学校	対象学年	全学年
支援活動内容	地域住民による明るいあいさつ運動への協力		

地域や学校の願い

- 地域や来校者の方々と笑顔であいさつをかわし、児童から地域に元気を届け、地域とつながり「あいさつあふれるまち伊深」にしたい。
- 児童会あいさつキャラクター「あいさつうさぎ」を、いろいろな場面で活用し、明るいあいさつと人と人とのつながりを地域に広げていきたい。このつながりで、大人になったとき、ふるさとを愛し、ふるさとに貢献する地域社会人を育成したい。



コーディネーターの関わり方

- 伊深まちづくり協議会にPTA副会長が毎月出席し、学校やPTAのあいさつ運動の願いや取組を丁寧に説明し協力を依頼している。
- H25年度からまちづくり協議会にて校長・教頭が、学校の教育方針を説明し地域の方々にあいさつ運動への協力を依頼している。(伊深小学校協力者会議と兼ねる。)



活動の工夫や効果

- 通学路や地域の交通の要所に「安全あいさつうさぎ看板」を高学年児童、PTA役員が設置した。看板の製作・設置に当たり、児童自ら、地域の方に、看板に込めた願いを伝え、協力依頼をした。また、この看板は、児童のみならず地域住民の安全意識の高揚と明るいあいさつの推進に大きく貢献している。
- 「あいさつうさぎ」は、児童のTシャツにまず登場した。さらにPTAもTシャツを揃え、一体感が生まれた。そして、青少年育成のあいさつ推進看板や各団体（自治会長会、体育振興会、市役所の各課）のユニフォームにも登場した。地域の様々な立場の方に、愛着をもって活用していただいている。
- 児童が地域の方々に進んであいさつする姿が増え、地域の方々からも「名前を添えてあいさつをしてくれてうれしい」「一緒にあいさつ運動に参加したい」と誉めていただけたことにより、地域とのつながりを実感することができたとともに、児童の自己有用感が高まり、主体性が育ってきた。

